





# 旅

## 歴史を語りつぐ噴水

### 西欧の人と自然

#### 清水 巖



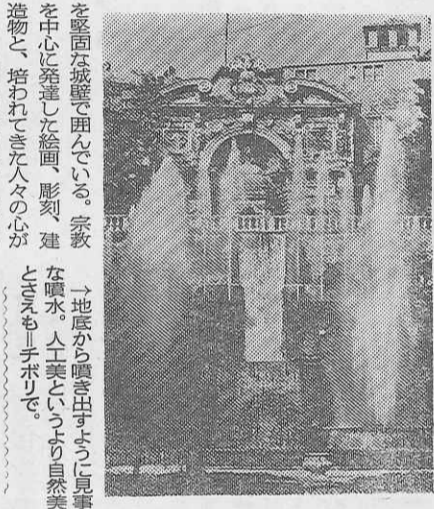
清水 巖氏

「私にはなんの予備知識もなかった。日本では、飲茶街の一角を運想する名前だ。一体どんな所なのだろう。」

バスはローマ市を左に見て、西を思い出していた。十六世紀、西洋の続々並木道を走る。松並木といっても日本の街並みに見かけは曲りくねった老松のような並木ではない。あたかもマツタケのように入り組まれた美しい並木道だった。

チボリ山は、今、別荘地帯となっていて。そこには中世の修道院を、十六世紀に別荘として造られた大きな庭園がある。傾斜地を利用して造られた大がかりな噴水は、大小数百を数える。真夏の涼を求める大勢の人がやってくるが、広大な敷地のためか、あまり目立たない。

写真正面の中央の建物は、噴水の回廊となっていて、流れ落ちる水のカーテンから外部が見える。さまざまな噴水は、ギリシャ神話



→地底から噴き出すように見舞な噴水。人工美というより自然美と云えもチボリで。

世界最小の独立国。その領土はローマ市の一角で、四平方キロ。元首はローマ法王である。イタリヤの国境は、城壁とサン・ピエトロ広場に敷かれた白いローマ石であるが、スイス衛兵が、この国を自衛している。

私がまず目を奪われたのは、広大な広場と、サン・ピエトロ大聖堂をとりまく柱廊の社会だ。キリスト教が誕生し、ひそかに信仰心が生きているのだろうか。またその神聖な場所を管理する人もその権威をもって人々に接しているのだろうか。

現代の子や信者でにぎわうサン・ピエトロ広場。カメラをのぞく現代の子も大聖堂から生まれる神聖な空気を感じているように、最後には敬けんな祈りをささげている。眠った信仰心と呼び起こす不思議な力があるのだろうか。

戦後、大量の外国映画が入り、中世の騎士道、海賊あるいはロマンス、オリエントのような古城を背景とした数多くの映画を見たが、今まさにその舞台を思わせるような気がしひしと私の肌を伝わっている。同時に、この紀元前の時代、このように巨大な石造建築物、道路や都市計画が完成させていたことにも驚嘆し協力して完成することを考えた。

近くは関東大震災のとき、内務大臣兼帝都復興計画院総裁・後藤新平は、大きな構想のもとに、震災後の都市計画を考えた。が、力、劇場、競技場、凱旋門、そしてこれらに施された彫刻など芸術品の数々を作りあげたローマ人と同じく、どんな人たちがたのたのたか。古代ローマ人は自己の良心を

## 京・北山とところどころ

< 2 >

十一月洛北の地は修学旅行生をはじめ、観光客がどっと押しかけ、終日観光バスが往來する。私は水石趣味で京の北山水系の高野川(八瀬一瀬)、貴船川、鞍馬川、加茂川の本流(雲ヶ畑)と休日ごとに探石に行く。その途次にある周辺の寺院仏閣(観光バスの行かない)とMOUNTAINを少しく紹介してみよう。

三条京阪駅からバスは加茂川、高野川沿いを北へ走る。途中、加茂川下流の風景、下鴨神社のこもりした樹林を住宅越しに眺め、八瀬近くのバス停平八前に「平八料亭」がある。江戸時代、若狭街道に面した陣屋で、若狭の魚の塩漬に味噌汁、表紙をつけて出した古い料理である。入口の騎牛門は長州の有名な権門を移したといわれる。権門から眺めると、京風の教習屋好みの瀟洒な庭がある。まことにバスで五、六分行き、

## 古道に残る昔がたり

### 文人趣味ゆたかな山里

#### 宮中ゆかりの八瀬の里

三毛崎バス停で降りる。蓮華寺 八瀬の方向二〇一三〇歩行、左側石畳道用道を一〇分ほど歩くと蓮華寺のさかきかな門がある。本堂には木尊釈迦如来像、黄髪風の仏殿、厨子は明風の彫刻が美しい。

自然石の橋を渡してある。池畔の顕彰碑は親交のあった本願庵の銘文、石川山田屋の石碑もあり。本堂には木尊釈迦如来像、黄髪風の仏殿、厨子は明風の彫刻が美しい。

群(心)は閑静なもの、時折花鳥草木を型どる。石灯籠は蓮華寺に二、三人の揮毫がある。この寺型高配の笠をもつ珍しいもの寺は寛文二年(一六六二)加賀藩(江戸初期)など、すべて文人趣味で、当時の文人生活文化の一端を表わしている。

庭は高野川から水を引き、池泉回遊式、中央に鶴亀一高を配し、園に「へ」。ここは比較山登り口



八瀬の里 (高野川をはさんで)

## 今様・奥の細道

### ④ 釘持杜宇

白河新聞(一) 前夜、宇野半立の急行「瀬戸」にゆられて京、上野から東北本線の人となり、関東の広大な緑の野原を駆け抜けて国鉄白河の駅にたどり着いた。白河は、かつて待たせておいた秋田県のかまきり有名な横手市に本社のある羽後交通株式会社の観光バスに乗る。

東京ではなんでもなかったのに、北上市にたどり着くと、その神のなり、遂に白河駅では雨の中。今年も奥羽地方のみ梅雨明けが未だ聞かれないが、本日は雨の旅

今、私の眼前にあるこの遺跡は、当時の神院、公共施設が建ち並んでいた。柱廊のあるパブリック、劇場、競技場、凱旋門、そしてこれらに施された彫刻など芸術品の数々を作りあげたローマ人と同じく、どんな人たちがたのたのたか。古代ローマ人は自己の良心を

「奥の細道」の冒頭の一文に「白川の関を越えんと、そぞろ神の物につきて」と書いてあるように、芭蕉にとっては江戸を発つ時に早くもこの白河の関に強い関心をもち

「心許なき日々が重なるままに白川の関にたどり着いて旅心定まり」(この文中から察するに、前述のように芭蕉は白河の関まで来行先きに対する重大な決心を強いられたのである。気候風土のちがひのちがひへの第一歩は印象的であったに相違ない。芭蕉は白河の関にたどり着いたことで、この旅の最初の一つの節目にたどり着くと同時に、これから先の不安がつたつたかと思う。白河の関は芭蕉にとっては憧れの地であった。『奥の細道』(岡山県総社市久代 二二〇頁)

認識し、公共の利益をもちたならぬものには、一切協力しなかつたとい

私の祖母は、また弥生期を迎え、稲作を知った時代であった。そして後進国の最たるものだった。『奥の細道』(二二〇頁) 財団法人・富山県教職員厚生会 事務局長(写真も)

# チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》 ●全館冷暖房完備 ●防火優良ホテルとして消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる  
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。  
空へ、水へ、緑の中へ...自分でハンドルを握る「ゆうえんち」  
国際レーシングコースを走るレーサー気分も.....  
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで  
校歌を歌うひととき——  
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も  
忘れがたいもの、どれを取っても  
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんがこの思い出深い修学旅行を体験しています  
「人と科学と自然の接点」  
今年の修学旅行こそスズカを加えた(新近畿ルート)をご検討ください。  
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離  
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。  
陽気なビッグ・レジャーランド  
鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町 電話=0593(78)1111  
本社: 東京都中央区八重洲2-6-20 ☎03(274)5821  
大阪営業所: 大阪市北区芝田町2-1-1 ☎06(372)1526